

ふっさ

◇ 昭和55年1月20日発行

◇ 福生市議会事務局

◇ ☎ 0425-51-1511 (代)



ハッピー ニュー イヤー
A Happy new Year

市主催の新年の婦人英会話教室が、お節料理を囲んで始まりました。外人教師の箸を持つ手もたどどしく生徒の手づくり料理に舌づつみ、みんなの表情は明るい。生徒のほとんどが子を持つ家庭の主婦で会話の勉強も欧米人の子育てから生活、文化と幅は広い。

55年ゴーゴー。家にこもらず大いに翔ぼう。

— 1月10日市民会館和室にて —

新春を迎えて



議長 小林 菊三



副議長 村尾 栄次

あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え謹んでご祝詞を申し上げます。

私たちは昨年四月みなさんのご支援により議会人となって初めての正月を迎えることになり、おかげをもちまして大過なく越年することができました。これもひとえに市民のみなさんのご援助、ご協力の賜ものであると心から感謝申し上げます。

さて、本年は市制を施行して十年になります。この十年間、文化都市として、市民のみなさんの協力と市政運営のよろしくを得て、立派な建物が、

いくつもできました。市民会館をはじめ、地域会館、また四月オープン予定の都下随一の図書館などがござい

ます。本年は市制十周年記念であり、これを機に、より一層の躍進の年として、もとより苦しい財政ですが、議員一同誠意をもって、慎重に協議を重ね、市政全般にわたり、内容充実に最大の努力を傾注する所存であります。

おわりに、みなさんのご健康とご幸福をお祈りし、なお一層のご指導とご協力を切にお願いし、市議会を代表して、新年のごあいさつといたします。

議員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 塩 | 小 | 末 | 指 | 宮 | 東 | 関 | 貫 | 鈴 | 村 | 松 | 原 | 遠 | 小 | 田 | 森 | 東 | 高 | 加 | 仲 | 石 |
| 野 | 堺 | 次 | 田 | 沢 | 田 | 米 | 井 | 木 | 野 | 山 | 敏 | 藤 | 野 | 村 | 田 | 浦 | 水 | 藤 | 村 | 川 |
| 鉄 | 仁 | 性 | 保 | 良 | 正 | 次 | 喜 | 藤 | 武 | 清 | 洋 | 敏 | 沢 | 市 | 治 | 春 | 惣 | 之 | 清 | 慶 |
| 之 | 助 | 七 | 男 | 雄 | 一 | 治 | 吉 | 郎 | 次 | 郎 | 男 | 清 | 子 | 一 | 久 | 郎 | 男 | 浪 | 八 | 助 |
| 助 | 七 | 男 | 雄 | 一 | 治 | 吉 | 次 | 郎 | 男 | 清 | 子 | 一 | 久 | 郎 | 男 | 浪 | 八 | 助 | 信 | 郎 |

第4回 定例会

・第4日目・

付託された議案についての委員長報告が行われ、すべて原案どおり決まりました。五十三年度一般会計決算は、討論の末、賛成多数で認定しました。また、この日出された一般職員の給与条例など二議案も原案どおり可決しました。

昭和54年最後の第4回定例会が12月6日に招集されました。この定例会には、53年度に市が税金をどう使ったかを審査する決算認定の議案が出されました。

・第3日目・

ポータス闘争が妥結したことによって、議員と職員に支給されるポータスの支給率の議案が市長から出され、質疑の末、原案どおり可決しました。

・第2日目・

市長より一般会計補正予算や国民健康保険税条例などが出されましたが、今回の最も大きなものは何といっても五十三年度一般会計決算認定でしょう。これは議員二十一人で構成する決算特別委員会に付託して審査することとし、その他の議案は、それぞれ関係の委員会で審査することにしました。

・第1日目・

会期を六日から二十日までの十五日間とすることに決めた後、申し出のあった六人の議員が一般質問を行いました。市制十周年の表彰問題や五十五年度予算編成方針など多岐にわたっています。

—53年度一般会計決算—

反対

賛成

民生費の落ち

市財産の良好な推移

—起立採決で83億1,455万円認定—



起立多数で認定された決算特別委員会

普通徴収は、調定額が四億三千万円で九六・四％、特別徴収が五億六千万円で九九・四％である。

普通徴収は、調定額が四億三千万円で九六・四％、特別徴収が五億六千万円で九九・四％である。

答 税率は百分の十二・一から百分の十四・五の不均一課税であり、大法人などから上がっ

問 法人市民税で、資本金一億円以上や課税基準の法人税額四百万円以上の法人への課税による収入はどの程度か。

答 二十六市の担当者においても廃止の意見が出ている。廃止の方向に進むと考えられるが、他の奨励金にも影響があるので、なお内部で検討の余地がある。

問 補助金等調査専門委員会の答申でも、納税奨励金のあり方を検討するように述べられている。立川ほか四市ほどが制度の廃止を考えている。当市はどう考えているのか。

奨励金見直しを示唆

問 市条例に基づく市民税の申告納税義務者は何人いるのか。また、そのうち未申告者は、どのくらいいるのか。
答 申告納税者は、一万九千人である。それ以外に未申告者が、六百六十九人いる。

〈歳入〉

五十二年度比

二四・五％の伸び

問 個人市民税の五十三年度課税分は一千八百八十四万四千円の収入未済となっており、対

前年度比八百二十万四千円の増である。収入未済がふえた理由は何か。これに伴い普通徴収分と特別徴収分の収入率を聞きたい。

答 市民税で前年度比〇・六％徴収率が下がったのは未納がふえたためである

特別委員会
のやりとりから

昭和五十三年度に税金がどのように使われ、その使い方にあやまりはなかったかを審査するため、議員二十一人で構成する決算審査特別委員会（森田治男委員長、遠藤洋一副委員長）をつくり、十二月十日に長時間にわたり、質疑を行いました。
そして、本会議最終日の二十日に討論を行い、起立採決の結果、賛成多数で五十三年度一般会計決算を認定しました。

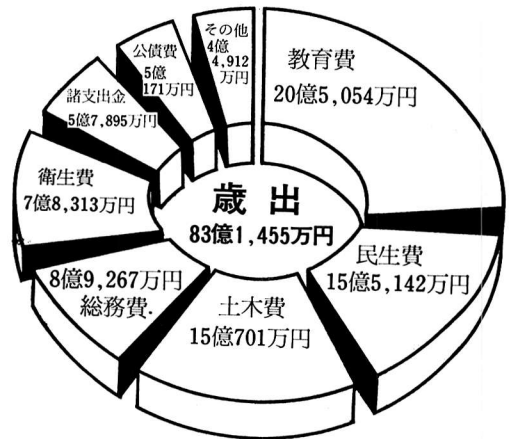
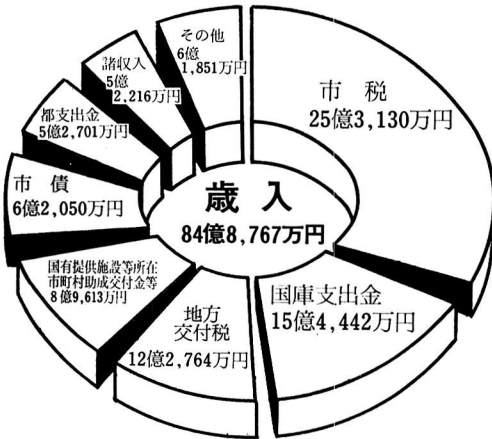
審議日程

- 12月
- 6日 本会議
 - 7日 本会議
 - 10日 本会議
 - 12日 一般会計決算審査特別委員会
 - 13日 厚生委員会
 - 14日 建設委員会
 - 18日 総務委員会
 - 20日 議会運営委員会
- 本会議

議会を傍聴しましょう

- 第四回定例会を傍聴された方々 (敬称略)
- 。一倉伊作
 - 。長尾弘子
 - 。羽生田勝商
 - 。下田良吉
 - 。柏木武
 - 。桜沢正一
 - 。井上寅吉
- 次の定例会は三月に開かれ、五十五年予算が審議されます。

昭和53年度一般会計歳入歳出款別決算表



問 市は老人や生活保護世帯には入浴券を何枚くらい配っているのか。

答 生活保護世帯と六十五歳以上の一人暮らしの方で、入浴設備のない人に配っている。生活



問 声の広報を毎月十二巻作っているが、どのくらい利用されているのか。

答 視覚障害の一、二級の人を対象に五十三年より始めたが、対象者は二十五人いて、そのうち十一人が利用している。

＜歳出＞ 主要施策おむね達成 執行率良好

てくる額は、二千九百七万円、三百件である。

問 外国人への軽自動車税は、条例に基づく正しい課税状態か。

答 条例上証紙徴収であり、アメリカ合衆国軍隊の構成員の賦課徴収の特例によって行って

いる。米軍の道路運行の規則で、納税済の納付書がない限り運行許可を与えないので、未徴収はない。

また、軽自動車税は、日本人に比べ、いく分軽減されており、その軽減分の総額は約二百七十三万九千円である。

問 五十三年度から国民年金の特例納付が始まったが、この利用者はどのくらいか。

答 五十五年六月で年金の取得権が時効になる四百人に勧奨を行い、約二百人が窓口を訪れ、三十人がすでに納入した。百六十人くらいは、六月までに納入すると言っているので指導している。また今後も個人勧奨をさらに二回ほど予定しており、広報にもできれば毎月載せて関心を促していきたい。

＜年金＞ 特例納付は 六月まで

トウロ 討論 トウロ

五十三年度の執行状況を見ると前年度に比べ、数字的にも市民サービスは充実しており、また仮称第八小学校建設基金として約二億円を積立、さらに約一億七千万円の公債の繰上げ償還もできた。歳入歳出とも五十二年より二〇％以上の伸びを示し、市財政は良好に推移している。今後も財政運用に充分留意し執行することを望む。

市民サービスは 充実
＜賛成＞

五十三年度予算はその編成時より構成比をみても民生費が二〇％台に留まるという福祉軽視の予算であったが、決算ではさらに民生費が全体の二八・六％に落ち込む福祉ばなれの予算執行が行われたことは明らかである。反面、企画調整費が国や都の役人の接待費に使われるなど不適切である。税金を市民要求実現のために使わず、財政負担の軽減を優先させるなど評価に値しない。

福祉軽視の 決算
＜反対＞

役割の明確化で 行政肥大の抑制を

— 監 査 意 見 —

<歳入> 決算額を52年度と比べると総額で16億6,872万円(24.5%)の増加である。これは、市税3億7,452万円、地方交付税2億9,376万円、国庫支出金2億5,670万円など大幅に増加したためである。収入率は97.5%で52年度に比べ1.8%減少している。また、自主財源は41.6%、依存財源は58.4%で、自主財源の額は52年度に比べ14.3%の伸びを示している。

<歳出> 決算額は83億1,455万円(26.6%)の増となっている。教育費4億3,635万円、諸支出金4億1,226万円、土木費2億6,548万円などが増加している。反面、商工費は1億699万円(95.5%)で、52年度に比べ0.1%減少しているが、執行率は良好である。

<むすび> わが国の経済が高度成長から安定成長に移行したことに伴い、税収の伸び悩みによる財源不足が心配されるが、地方公共団体に対する市民の要望は、依然として増大していく傾向にある。これら行政需要に応じていくためには、財政の健全性を堅持しつつ、その責任において行うべき仕事をより一層計画的かつ効率的に遂行していかなければならない。そのためにも、市と市民のやるべき役割を明確にして、行政のあるべき姿を市民の前にうち出していくことを期待する。

問 地域美化活動費の美化活動交付金と美化協力員謝礼について聞きたい。

答 交付金は、一町会当たり五千円を町会に出し、町会からも活動の報告を受けている。協力員謝礼は、町会長に出している。

問 草刈機の貸出し状況について聞きたい。

答 五十三年度に一台購入し計六台あり、それを貸出している。五十三年度に三十一件の申し込みがあり、平日には、職員が貸出し、土曜、日曜には警備員が渡せるようにしてある。

問 都に払う消防事務都委託負担金について聞きたい。

答 都財政の逼迫から、基準

財政需要額の一〇〇%の負担を都から要求されているが、各市町村では、七三%しか負担できないと主張している。

単純労務は 高齢者事業団へ

問 公園管理や道路関係部門の単純労務などは、十一月に完了した高齢者事業団に委託できないか。

答 内容を検討し、事業団に委託できるものを判断し、取り組んでいきたい。

問 都市ガスなどの道路占用に対する占用料を徴収していないのは、都下二十六市中福生市だけである。占用料の条例を設

けないのか。

答 道路占用件数は四十件、延べ一千六百三十一メートルである。財政見直しの点で話題になったが、コストの計算からみて、メリットがないので、いまだ設置していない。

問 教育関係の超過勤務が他市に比べ多いのではないか。

答 教育関係事業が進み、土曜、日曜の出勤が多くなっている。市民要望と行政のバランスを考えなければならない。

問 児童の健康管理について学校では、どのようなことを行っているのか。

答 歯科、内科、眼科検診のほか、貧血検査や尿検査、寄生虫検査なども行った。

総務委員会

今回総務委員会には、一般会計補正予算(第五号)と新たに第一中学校裏に中央図書館を建設したことによる図書館設置条例の一部改正条例が付託されました。中央図書館に関する質疑の一部をお知らせします。

図書館司書など 十二名を配置

問 市全体の図書館を考えた職員配置について聞きたい。

答 中央図書館がオープンすると図書館分館と合せて三館となる。中央図書館には、資料室もあり、職員は資料室も含めて十二人とパート。図書館分館には、それぞれ職員二人とパート一人を配置する。

問 中央図書館開館は四月を予定されているが、図書整理の進みぐあいはどうか。

答 七万五千冊から八万冊での開館に努力している。図書は、従来の福祉会館にある図書館の二万五千冊の本の整理が済んでいる。新規購入分は、五万冊から五万五千冊である。このうち約半分は済んでおり、残りは、パートを使ったり、本の整理ができる業者から購入するなどの努力をしている。



明るい室内

問 図書館内部の照明は十分であるか。

答 図書館は、六畳間に四十ワット(40W)の蛍光灯を二本つけた明るさだいたい同じ百五十ルクス以上、事務室は百ルクス以上を目標としている。会議室には受験生を対象として使っていく部屋もあり、若干暗いため検討している。

蔵書は約八万冊

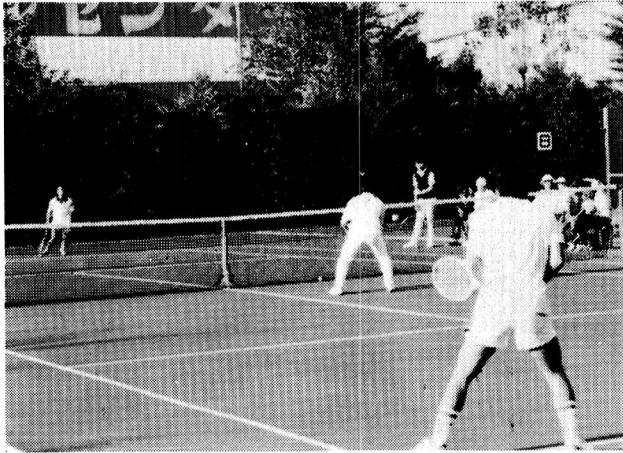
問 中央図書館開館は四月を予定されているが、図書整理の進みぐあいはどうか。

答 七万五千冊から八万冊での開館に努力している。図書は、従来の福祉会館にある図書館の二万五千冊の本の整理が済んでいる。新規購入分は、五万冊から五万五千冊である。このうち約半分は済んでおり、残りは、パートを使ったり、本の整理ができる業者から購入するなどの努力をしている。



一般質問

第4回定例会では
6人の議員が一般
質問を行いました



テニスを楽しむ市民

テニスコートの全天候

砂が積もって無理

質問 市民スポーツも日々盛んになり高度化していくなかで体育施設は大きなウェイトを占

める。幸いにして当市の施設面積は都下二十六市中上位である。基本構想では、市民総合グラウンドの設置に努めるとあるが、どのように考えているか。世論調査によるとテニスの人気は一番である。当市でもコー

早く造りたい。

トの利用が多く、休日などなかなか借りられない。テニスコートの新設や南公園の全天候テニスコートへの改造の考えがあるか。またバドミントンの使用について尋ねたい。

市長 一箇所ですべての競技ができるような総合グラウンドは予算面や土地の制約等でむずかしい。実際に使えるものを

用している。常設のコートは無いが、学校とも相談し、教育に支障がなければ前向きに考えた

市で管理する廃道敷

元の所有者に払下げ

質問 廃道敷は国からの払下げ手続も完了し、市の財産として管理されている。しかし、一部市民から払下げ申請が出ていると聞く。現在廃道敷は市内にどの程度あるのか。また払下げの方法は。

助役 現在市で管理する廃道敷の面積は四十筆で約三千二百二平方メートルある。福生市廃

道敷処分要綱の中で処置するが、道路として寄付した人には無償で返す。現在三筆払下げ申請中である。

老年金の受給資格

請求ないと五年で時効

質問 老年年金や通算年金は、六十五歳になると支給されるが、繰り上げで減額して六十歳からでも支給される。これらは、本人の申請によると思われるが、請求しないと五年で時効となる。新たに受給権者となった人への連絡はどうしているのか。

福祉部長 満六十歳になった方には、文書で通知を出している。また満六十五歳の人も文書及び電話で個々に連絡している。現在まで当市では請求漏れはない。広報でも年五、六回これらを掲載しており、漏れのないよう十分注意している。

技能功労者の表彰

積極的に考えたい

質問 五十五年に行われる市制施行十周年記念における表彰は、ボランティア活動や青少年の育成など各方面で尽力された方々を幅広く表彰したらどうか。

技能成績が他の模範としてふさわしい人、優秀な人を勤労感謝の日にも表彰する考えはあるか。

市長 市制十周年にふさわしいような記念表彰をしたい。ご

指摘の点も検討委員会で積極的に検討しよう命じる。

技能功労者の選考となると個人的主観が入って、なかなかむずかしい。毎年商工会で優良店員の表彰を行っているので、商工会に相談して積極的に考えたい。

新入学児童の健診

今回は教育委員会で

質問 来年度市立小学校へ入学予定児童の健康診断の内容について尋ねたい。

学務課長 就

学時健診は次の五項目からなっている。一、身長測定。二、内科、歯科の診察。三、目、聴力の検診。四、簡単な図形を描く。五、親子面談という形で所管の校長先生と面接相談。

新入学児童の健康診断

質問 西教組福生地区協会の団交を一方的に打ち切り、協力をしなかった理由を聞きたい。

教育長 団交は十月十三日に

行われ、地区協から六項目にわたる事項が要求され、四項目については、若干の意見の相違はあったが合意を見るに至った。残る二項目については、法令に抵触するので、認めることができず、難行した。内容は就学時健診の実施時期と就学については、保護者の希望を入れるという事項である。その後数回交渉の日程が設定されたが、地区協の方から、その都度延期の申し入れがあり、調整がつかず、事務的準備も迫り、医師の都合もあって、十一月中の実施が困難になることも考え、今回は教育委員会が主体で実施することにした。



質問 健診会場がそれぞれの

学校でなく、市の施設で行われている。児童や父母にとってはこれから通学する学校を見、環境を知るうえで大切である。教員も児童と接することにより入学後の指導に役に立つ。このようなメリットを無視して会場を市の施設にした理由と健診時期の変更について聞きたい。

学務課長 従来は健診を一月三十一日までに実施すればよか

岩田 博 前議長逝く



岩田 博議員(56歳)は、1月1日午後6時35分 胃ガンのため大聖病院で死去されました。岩田議員は、町制時代より連続5期当選し、その間、建設、厚生議運などの各委員長を歴任され、52年から昨年4月まで市議会議長として、市民のために活躍されました。ここに謹んでごめい福をお祈りいたします。

た、次年はどうなるのか。

教育長 教育委員会が主体で実施しているのは福生市だけである。

次年も基本的には教育委員会主体で実施したいと考えている。学校での実施の希望があれば検討していく。健診内容は同じ形になると思う。



農地の宅地なみ課税

八〇%の減額が精一杯

質問 当市も近年、発展ととも

に住宅もふえ、これに伴い農地の宅地転用が目立ち、農家の耕作面積も減少している。国は数少なくなった市街地区域にある農地に対し、A・B・Cと区分し、宅地と同じような税金をかけている。市では、これを救うため五十四年度ではA・B農地に対し、税額の八〇%を減額した。来年度はさらに減額する考えがあるか。

市長 ご指摘の減額も各市町村財力によって差があり、国は約六六%の交付税しかみず、財政力の弱い福生市では、八〇%が精一杯である。

十六号線の渋滞緩和

まちにまった拡幅着工

質問 基地前を通る国道十六号線は、連日大混雑をきわめており、その渋滞は激しく、地元商店街への迷惑はもちろん、付近の住宅街への自動車公害など大変多くなっている。このようにときに基地側を削って十六号線を拡幅することは、非常に喜ばしいことである。そこで次の点を聞きたい。基地の面積はどのくらい減少するの。その減少した分の代替地はどうなっているの。また基地交付金への影響はどうか。

市長 国道十六号線拡幅は、十数年の運動の成果で、十二月に着工した。減少する面積は、約二万六千平方メートル。代替地については報告を受けていないが、瑞穂町分と聞いている。基地交付金の減少額は、約六百万円前後と予想している。

市民の交通指導

補助増考えたい

質問 福生交通安全協会は、福生市、秋川市、羽村町、瑞穂町の二市二町と安全運転管理者

で運営され、その実績は春、秋に全国的に行われる交通安全運動や七夕祭りの警備等、交通指導や事故撲滅の啓もう宣伝に献身的な努力をしている。

さて他市町の補助金内容を見ても、当市は非常に遅れがあるように思うが、補助金の増額ができるか聞きたい。

市長 市の交通安全に協力していただき深く感謝します。都からの補助金もまだ決定しておらず、折衝は続いているが、余り期待はできないと思

安全運転の協力に 補助金も安全に



う。しかし、みなさんのご苦勞もあり、他市と比べ非常に無理しているので、できるだけのこととは考えたい。

信号機の設置

危険な箇所が先

質問 交通安全には普段から力を入れていると思うが、総合的対策を講じていかなければならない。交通量の激しい事故多発箇所のチェックは大事なこ

である。市民から要望のある福生団地の交番前と奥多摩街道、市道一三九号及び一七八号線の交差点への信号機の設置を関係機関に要請願いたい。

市民部長 現在、福生警察署管内に信号機を必要とする箇所が約百箇所、このうち福生分が二十箇所、費用は一箇所二百万円年間維持費が五万円かかる。福生分のうち、最も危険な幹線道路の信号機を優先的にやらねばならず、市としても順次要請していく。

市民の健康づくり

新たに乳ガン検診

質問 当市は健康都市宣言に基づき、他市に例を見ない設備が充実し、誠結構である。

さて、当市は町を歩く人種も国際的であり、まれには外人による殺傷事件、あるいは麻葉問題がある。これらは、基地の町の必然的な特色

であろう。このような他市にない悩みを克服しての「人間優先の町づくり」に

れこそ、宣言にある市民健康づくりと考える。そこで家庭の主婦や自営業などの定期的な健康診断の実施ができないか聞きたい。

市民部長 最近各市民の中にグループ組織で健康づくりをしようという考えがあるようだ。専門家をそちらへ派遣して健康相談に応じている。来年度は、現在行っている胃ガン検診、子宮ガン検診、循環器系検診に乳ガン検診も加えていく。PR不足もあると思うので、さらに努力していく。

議会日誌

10月	11月
11日 青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会	1日 全国基地協議会正副会長・監事・相談役会議三多摩上下水第二委員会
12日 横田基地対策特別委員会	8日 東京都議会議長会
16日 西多摩農業共済事務組合議会	9日 狭山火葬場組合議会視察(10日まで)、愛媛県西条市議会議員視察来市
19日 市議会だより編集会議	
22日 建設委員会行政視察(23日まで)	
23日 福生伝染病院組合議会視察(24日まで)	
29日 総務委員会行政視察(30日まで)、東京都市収益事業組合議会視察(30日まで)	

福祉は本来国の仕事

市町村は財力に乏しい

質問 最近「福祉優先」の見直しが盛んに論じられているが、国際的にみても、わが国の福祉水準は決して高い方ではない。これからは、真の福祉の哲学と科学の確立の時期であると確信する。

そこで、来年度福祉予算に対する国の考え方、通達などが来ているか。また市の考え方も聞きたい。

市長 国からの来年度予算に

対する考え方や通達は来ていない。

市としては将来を考え、あくまでも健全財政を堅持しながら福祉の問題に取り組みたい。福祉行政は市町村の財力によってバラツキがある。福祉に差があってはいけないと思う。本来国が行うべきだ。現状では都の補助金がまだ定まらず、決まった段階で対策をたてたい。

男手の少ない昼火事

婦人の消火活動期待

質問 多摩河原一帯が広域避難場所として指定されている。これは、建設省の管轄でもあるが、避難場所に適しているのか。また整備ができているのか聞きたい。

起震車の購入など防災対策に前向きな姿勢がうかがえるが、昼間は婦人が中心である。婦人の消火指導員が必要と思うがその考えは。

市民部長 火災時の輻射熱は、住宅から三百メートルぐらいの範囲までが危険とされている。当市には、それだ



昨年12月永田での昼火事



美化運動に協力を 12月18日撮影

ゴミ・ゴミ・ゴミ

- ・ 1日のゴミの量 47,927kg
- ・ 一世帯当たりの1日のゴミの量 2.93kg
- ・ ゴミ処理にかかったお金 年間2億 854万円
- ・ 一世帯当たりの処理にかかったお金 年間12,760円

けの広域的なものがないので、多摩川の河川を設定した。今後も防災会議に諮り万全を期す。ご指摘の婦人の防災指導員は必要だと思う。現在、消防連絡協議会などで婦人防災コンクールを行っている。婦人の防災意識は高まってきている。

町会単位で古紙の回収

積極的な減量対策

質問 清掃だよりなどの啓もうで、市民がゴミ問題に関心を持つ要素となり、家庭や町会で

地域の美化に努めるようになった。しかし、きたないゴミ収集場所もある。行政と市民が一体となって環境美化のため努力してこそきれいになる。環境美化デーを年間通じて設置し、全市内の環境整備を図るべきだと思うがどうか。

市民部長 現在当市は、ゴミの減量に重点をおき、各地区で自発的にゴミ減量に取り組み、十五町会で毎月あるいは、隔月に古紙の回収作業をしている。残る町会も自発的な回収に取り組んでいくと思う。これにより、収集所の整理もでき、同時

12月

28日	27日	26日	25日	20日	18日	17日	14日	13日	12日	10日	7日	6日	5日	30日	28日	27日	22日	19日	
全国基地協議会陳情御用納め	全国基地協議会陳情	全国基地協議会陳情	西多摩衛生組合協議会	第四回定例会(第四日目)、全員協議会	議会運営委員会	狭山火葬場組合協議会	福生伝染病院組合協議会	総務委員会	建設委員会	協議会陳情	厚生委員会、全国基地協議会	一般会計決算審査特別委員会、全員協議会	昭和五十三年度福生市目)	第四回定例会(第三日目)、議会運営委員会	第四回定例会(第二日目)	第四回定例会(第一日目)、全員協議会	都市下水路組合協議会	青梅・羽村・福生地区	三多摩上下水第二委員会

に美化を兼ねた減量対策にもなる。市としては、これに積極的に取り組み、「美化デー」というものは考えていない。

むずかしい最後の予算

次年度は後任者が執行

質問 鈴木都知事は、財政再建委員会の中間答申を受けて、来年度は福祉や教育予算を大幅に切り捨て、都民の負担増を図ろうとしている。これは、当市にとっても大きな負担となることは明らかである。市長にとっては、市長四期目の締めくくりの予算でもあるのでどのような編成方針を持っているのか聞きたい。

市長 都の補助金が決定しない

いと、市の予算編成もむずかしい、手がつかない。仮に都の補助金が決定しても三月定例会きりぎりでないとは決まらない。私の最後の予算編成であり、予算の可決を得ても、後任者が消化するわけである。事務費、あるいは継続事業などは予算化し、その他を予備費に回すことも考えられる。いろいろな方法はあると思う。

子供の遊び場道路

今後検討していく

質問 子供達の遊び場が少なく、危険な所で遊んでいる子供をよく見かける。特に奥多摩街道と玉川上水にはさまれている地域は危険である。これを整備

して遊び場道路にする考えはないか。
市長 子供の遊び場道路は、結構なことなので検討する。

幼稚園への都補助金

市長会で獲得運動中

質問 都の財政再建委員会の中間答申によると幼稚園児への補助も見直すところ。五十四年三月現在の当市の補助対象園児は、三歳から五歳まで延べ一万四千五百五十六人で、これを打ち切ると影響は大きい。もし都が補助金を打ち切った場合、市はどうするのか。

市長 まだ答申の時期であり流動的である。市長会でも運動中であり、いま答える時期ではない。

都は教員三千人削減か 教育長会で取りやめ要請

質問

都は財政危機を理由に五十四年の四月から小学校の体育専科教員を五百七十三人減らしている。さらに中間答申は、「段階的に約三千人の先生を減らせ」と要求している。先生の病気や出張のときは、子供達は自習を余儀なくされる。学級四十名編成どころか逆に増加する

ようになる。また児童一人当たり約五千四百円の学校運営補助金も、カットしようとしている。市は、このような教員削減や補助金カットの動きをどう受けとめているのか。
教育長 都は、三年間で教員を約三千人削減しようとしている。この削減措置がとられた場合、どう影響していくか重要な問題なので、市教委も慎重に取り組んでいる。また教育長会を通じて強く削減取りやめの運動をしていく。

請願

陳情

● 継 続 ●

武蔵野台二一七一—
替地象二氏

昭54・12・20提出—
陳情第五号 非核三原則の立法化要請決議に関する陳情書

武蔵野台二一七一—
替地象二氏

昭54・12・20提出—
陳情第六号 地域防災コミュニティセンターの設置に関する陳情書

牛浜一四二—
下田良吉氏

昭54・12・20提出—
陳情第七号 町会において管理運営する掲示板の設置に関する陳情書

牛浜一四二—
下田良吉氏

昭54・12・20提出—
陳情第四号 原子爆弾被爆者の援護法制定促進決議に関する陳情書

第四回

臨時会

十一月二十七日(火)に第四回臨時会が招集されました。この会議では、排水路等の工事契約二件と専決処分二件が審議され、それぞれ同意、承認されました。



5月に 議員補欠選挙

故岩田博議員死亡に伴う補欠選挙が行われます。

本年5月20日で市長の任期が終わりとなり、市長の選挙が5月に行われます。これと一緒に公職選挙法の第113条3項4に基づいて、市議会議員の補欠選挙が行われます。

説明 法第113条3項4—地方公共団体の議会の議員の補欠選挙は同一の地方公共団体の他の選挙が行われるときに実施する。

